

## 〈エコ・クィーン〉の耐火実験

長野県中野市に伝統工法や古民家再生を得意とする勝山建設さん(勝山要助社長)があります。

初期のころから〈エコ・クィーン〉をお使い頂いている勝山建設さんが、震災に遭われた長野県栄村復興のチャリティイベントで珪藻土塗り体験やビニールクロスとの燃焼比較実験をすることになり、お手伝いに伺いました。

5月15日、会場は古民具の展示や木工教室、消防署による防災コーナーなども設けられ、たくさんのお客様にお越し頂き大盛況でした。

消火器の使い方を体験するコーナーでは、〈エコ・クィーン〉とビニールクロスをそれぞれ天井・壁に施工した小屋を用意し、火事の現場を再現しました。

(右写真:左の小屋が〈エコ・クィーン〉、右がビニールクロス)

中に置いた薪に火をつけ数分後、ビニールクロス的小屋から黒煙と炎が上り、鼻を突くような激しい異臭が立ち込めると皆の目が釘付けになり、「すごい勢いだね」「怖いね」という声も聞こえ、来場者の方々は火事の怖さを実感されたようです。

鎮火後、柱だけが残ったビニールクロス小屋に比べ、〈エコ・クィーン〉小屋は壁や天井が残り、改めて火に強いことが実証され、勝山社長もとても驚いていらっしゃいました。不燃認定が取れているとはいえ、このような実験で不燃の効果を確認できたことは、とても勉強になりました。

当日の様子は勝山建設さんのHPでご覧いただけます。

有限会社 勝山建設  
長野県中野市草間874  
電話 0269-23-2266

<http://www.katsuyamakensetsu.com/>



親子で参加した方が多かった  
「手形パネル」はとても好評でした。



火をつけて約3分後。ビニールクロスが燃え始めると  
炎と共に独特の臭いが激しくなりました。



さらに10分後、消火器で鎮火。  
ビニールクロス的小屋は全焼でした。